

石島会計メモ

平成29年2月号



中央区日本橋本石町 4-5-12
友泉本石町ビル 3階
石島公認会計士事務所
(03)3275-1311
発行責任者 石島洋一

確定申告をする人の所得と税金

(文章：石島洋一)

他人の「フトコロ具合」

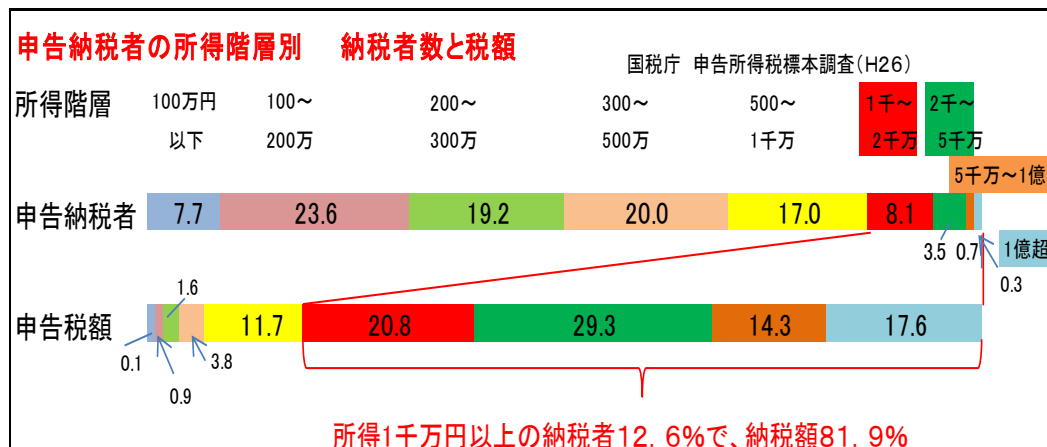
ちょうど今、所得税の確定申告の時期です。給与所得者の多くは、年末調整で税務手続きは完了し税務署に申告義務はありませんが、給与を複数個所から受けている人や、自営業者、不動産所得のある人、医療費控除を受ける人など、毎年600万人以上が確定申告をします。

この確定申告をした人の所得というのはいくらぐらいなのでしょう？他人のフトコロ具合を知ったところで、何か得をするわけではないのですが、気になるのも人情です。

毎年発表される国税当局の調査でみると、申告納税（還付の人は除く）した人の所得の中位数は300万円程度になっています。この場合の所得金額は、給与所得の場合には給与所得控除後の金額ですから、年間400万円弱の給与の人が該当することになります。

税負担の公平感はあるのか

所得の高い人はどの程度いるかを見ると、年間所得1千万円以上の人の割合は12.6%ですから、おおよそ8人に一人の割合になっています。実は、申告所得税税額の81.9%は、この所得1千万円以上の人が支払っているのです。



この状況を、所得が高い人は多くの税金を納めるのは当たり前とみるか、高所得者の税負担が大きすぎるとみるかは意見の分かれるところでしょうが、このところ高所得者に対する税金の負担が増えていることは確かです。

経営者報酬の考慮も

平成29年からは、給与を1千万円以上受けている人の給与所得控除が引き下げられます。さらには今後、所得の高い人の配偶者控除を無くすことが検討されています。このように、一定水準以上の所得者の重税感は増していく方向にあります。

経営者にとっては自分の給料をいくらにしていけるのか、特に、税法の有利不利の境目にある人にとっては、こうした税法改正との絡みの中で、経営者報酬を決めることも考慮すべき時代になってきたのかも知れません。(ア)



東京マラソン あの選手は今…

いよいよ2月26日(日)、東京マラソンが行われます。我が事務所の高齢者2名(石島所長と加藤美智子)が抽選であたってしまい、二人ともバス(タイムオーバー者の**収容バス**)に乗るのではないかと噂がしきり。そこで、この2選手に今の状況をきいてみました。

まずは3年前出場時に、あと2分でギリギリ関門を通過した石島所長選手。『**今回は練習量十分です**。あちこち出かけてはバスに乗って帰りました。本番でもバス酔いすることは無いでしょう。』と、バス乗車の不安は全く無い模様だ(そっちかよ?)。『当日、**雨が降るようでしたら、絶対欠場します!**』と本番に向けて固い決意(?)を述べる。

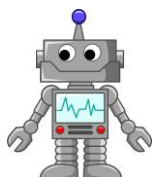
一方、加藤選手は、4年ぶりの出場。この間、全く運動はしていない。出場決定後の昨年10月よりスポーツジムに通い出した。

『ジムの他に、週一回は外を走るように心がけましたが、「風が強い」などをいい訳にして少々練習不足、せいぜい走れて8Kです。**でも、前回は今回同様の練習量でも完走できたので、本番では間違いなく完走出来るでしょう**』と思いきり楽観的な様子。芦原専任コーチは「毎年、確実に年をとっていることを忘れ、あの楽観主義はうらやましい」と手放しのあきれよう。



新コース(ゴールが東京駅)で、この両選手と収容バスとのスリリングな戦いは、序盤戦から目が離せない(序盤から収容バス?)。

頑張ってる会社のご紹介！



いろいろなもの詰めちゃいま〜す！

(文章：芦原 衛)

今日は、芦原より頑張っている会社、株式会社テクニカ様（以下「テクニカ」）をご紹介します。

★テクニカってどんな会社？

テクニカは、東京都台東区に本社があり、千葉と大阪に工場がある会社です。台東区といえば、浅草や上野が有名ですが、テクニカの本社は、当事務所にも近い秋葉原から歩いて数分の所にあります。



(充填機)

事業内容としては、主に「充填機」を作っている製造業の会社です。充填機って？と一般の人にはあまり馴染みのないものかもしれませんが、充填機とは、主に粉末の物を容器に詰める機械で、実は、私たちの生活にすごく関係しているんです。この機械で充填された商品がお店にたくさん陳列されているんです。代表的なものとしては、食料品では、小麦粉や片栗粉、生活用品では、洗剤や化粧品、その他消化器なんかもこの機械で充填しているんです。この他にも、まだまだたくさんあります。テクニカは、

そんな充填機を製造している会社なのです。

★社長さんってどんな人？

テクニカの社長は、高橋元幸社長です。社長は、ものづくりが大好きで、充填機でもっと早く詰められる方法はないのか、他に詰められるものはないのかなど、いつも考えています。最近では、食料品の異物混入問題が騒がれていますが、その辺は特に慎重に機械の設計をしているそうです。

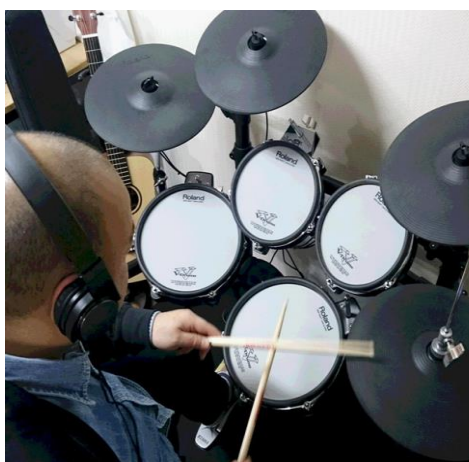
プライベートでは、社長は非常に多趣味で、



(高橋元幸社長)

登山・ハイキングなどのアウトドアやペットの飼育・観賞、その他以前は、バンドなどもやっていたそうです。アウトドアでは、有名な所にはほとんど行かず、あまり知られていない所ばかり行くそうです。因みに都内のおすすめを聞いてみたところ、「海沢溪谷の海沢三滝」の滝めぐりがおすすめだそうです。

また、今までに飼ったペットの種類も多数で、パッと思い浮かぶだけでも、犬、**ヘビ**、ハムスター、熱帯魚、カメ、イモリ、メダカ、虫など、他にもたくさんあるそうです。結婚してからは、奥様に「**どれか一つにして!**」と言われて、最近では専らカメ専門みたいですけど(笑)。(でも、ヘビは奥様じゃなくても難しい気がしますが...)



そして、社長の趣味の中でも特に好きなのが**ドラム**です。今は仕事が忙しくて仲間とバンドをやっている時間がないので、時間を見つけては、一人で叩いています。ドラムを叩いていると日頃のストレスも忘れ、とてもリラックスできるそうです。ただ、ドラムは非常に大きい音が出るため、家の中では叩けません。現在は電子ドラムを叩いているそうです。是非、一度聞いてみたいものです。

(ドラムを叩いている社長の様子)

★社長のモットー

最後に、会社を経営するにあたって日頃心がけていることを聞いてみました。

「経営者としてのモットーは、一言で申しまして**想像力**でございます。ものを造る人間は、ものを使う人の気持ちや完成したものが世の中にどのように展開するのか、それによって人々はどのような利益利便が得られるのか、より良いものを造るにはどうしたらよいか、様々なリスクにどう立ち向かうのか等、色々な事に考えをめぐらせ、想像を働かせていかななくてはなりません。人は想像する生き物であります。そしてそれを形にする事の出来る生き物であります。私は、ものづくりで一番大事なのは、想像する力だと思っています。」

確かに、ものづくりの原点は、創造力や発想力ですよね。高橋社長、ありがとうございました。以上、芦原より、頑張っている会社のご紹介でした。

株式会社 テクニカ

代表取締役 高橋元幸

〒110-0016 東京都台東区台東 1-27-11 佐藤第2ビル

TEL 03-3832-0013 HP <http://technica-c.com/>

(高橋社長に面会希望等有る方は石島会計宛、ご連絡下さい)